

しずおか

2022年 3月26日

発行

# 県社保協ニュース

28期 No.2

静岡県社会保障推進協議会  
事務局長 小高 賢治

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

## ロシア軍の侵略を止めたい！市民のいのちを守りたい！

静岡県社会保障推進協議会 「25条署名宣伝行動」に7団体、約30名が行動！



静岡県社会保障推進協議会は事務局団体会議（3/22）で3月25日の「憲法25条デー署名宣伝行動」は「ロシア軍のウクライナの即時撤退を訴える宣伝行動」を行うこと、併せて「憲法改悪を許さない全国署名」と「75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願書名」を行うことを確認しました。

当日は小春日和の静岡市内の青葉公園で、7団体から約30名の参加で、それぞれの団体が「ロシアはウクライナ侵略をやめよ！」「ウクライナ人民の命を奪うな！」など思いを込めたプラカードと沢山入る募金箱を持ち寄りしました。

そして県社保協の小高事務局長、菊池会長（県評議長）、岡村年金者組合県本部事務局長、山田県保険医協会副理事長が次々とマイクを握り、「何としてもロシアのウクライナ侵略を止めたい。その願いはおとなも子どもも一緒。私たちも皆さんも一緒です。そのために重要なのは、国際世論です。世界の多くの国々の政府と市民社会が「ロシアは侵略をやめろ」「国連憲章を守れ」「国際人道法を守れ」この一点で声を上げて、力を合わせることで、侵略を止める一番の力になります。みんなで声を上げ続けましょう。ウクライナ支援募金もご協力を！」訴えました。

## 僕たちも募金出すよ！何かしてあげたい！



ウクライナでは連日、多くの子どもを含む民間人が犠牲になっています。自分たちと同じ子どもたちの悲惨な映像を日々目にしている子供たちがいます。この日も自転車での5～6のグループの小学生が足を止め、「僕たちも出すよ」と小遣いから、みんなが募金を出してくれました。「何かしてあげたい」という気持ちが痛いほどわかった。嬉しかった。」という参加者の感想も出されました。また2千円を差し出す若い女性の姿もありました。

当日は45分間で6145円の募金と「憲法改悪を許さない全国署名」10筆と「75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願書名」10筆が寄せられました。

行動参加者も通りかかった人たちも「戦争を止めたい」想いのあふれたウクライナ支援募金行動となりました。